

# 令和元年の「富富富」生産の取組みについて ～作付面積が拡大！収量と品質・食味の両立を目指して！～

デビュー2年目となる「富富富」は、県全体の作付面積が昨年の2倍以上の1,105haとなりました。生産量も5,500tが見込まれ、首都圏を中心に年間を通じた販売が可能となり、これまで以上に多くの実需者や消費者から評価を受ける重要な年となっています。

そこで、これまでの生産面の取組みとともに、当面の管理のポイントについてお伝えします。

## 1 管内の取組み状況

当センター管内の作付面積も、昨年の2倍以上の152haに拡大し、生産者も100経営体となりました。

当センターでは、収穫作業がコシヒカリと競合しないように早植の実証圃や「富富富」用の新たな肥料の試験圃を設置するなど技術の確立に努めています。

表 砺波センター管内の「富富富」作付状況

JA名	作付面積 (ha)		生産登録者数 (ha)	
	30年	元年	30年	元年
となみ野	55	118	52	83
なんと	5	8	7	8
福光	13	26	6	9
計	73	152	65	100

## 2 今後の栽培管理のポイント

昨年いただいた評価をより一層高めるため、次の技術対策の徹底をお願いします。

- ① 水管理：出穂期から20日間の湛水管理を徹底し、刈取り5～7日前まで間断かん水とします。
- ② 適期刈取り：籾黄化率80%（出穂期後の積算気温1,050℃）を目安に刈取りを開始してください。
- ③ 適切な乾燥調製：玄米水分は14.5～15.0%となるよう丁寧に仕上げましょう。

※出穂後の気象に対応するため具体的な作業は巡回指導や刈取適期札等を参考に行ってください。

## 職員紹介

	課	班	担当地域	職員	
所長 金村 俊文	3 階	経営支援班 班長 田村 聡 32-8111	管内全域	石井 弘子 金森 吉亨	
次長(事務) 松井 邦彦		園芸振興班 班長 向井 和正 32-8112	管内 全域	野菜 花き 果樹	押川 友 島 朱音 佐藤 克美 大窪 延幸 谷口 正裕
次長(農業普及) 柳瀬 満 32-8146		農業普及課 課長 大田 幸夫 32-8284	砺波班 班長 木谷 吉則 32-8113	砺波市 南砺市 (JAとなみ野管内)	島田 和弘 池田 博一 信里 匡昭 林 豊治 向野 貴養
次長(農業土木) 中紙 弘之			南砺班 班長 藤牧 寛充 32-8114	南砺市 (JAなんと、 JA福光管内)	熊野 貴章 大池 新二郎 上野 香織
*太字は平成31年 4月転入者	2 階	企画振興課 課長(兼務) 柳瀬 満 32-8263	管内全域	林 民子	
*企画振興課については普及関係のみとしています *2階には、総務課、管理検査課、指導課、農村整備課、森林整備課がありますが、割愛してあります。					

広域普及指導センター(富山市吉岡 1124-1) | 技術振興担当 076-429-5041 | 畜産指導担当 076-429-5043

発行 富山県砺波農林振興センター 〒939-1386 砺波市幸町1-7 (砺波総合庁舎内)  
TEL (経営支援班) 32-8111 (園芸振興班) 32-8112 (砺波班) 32-8113 (南砺班) 32-8114  
FAX 32-8139 ホームページアドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1633/1678/1678.html>

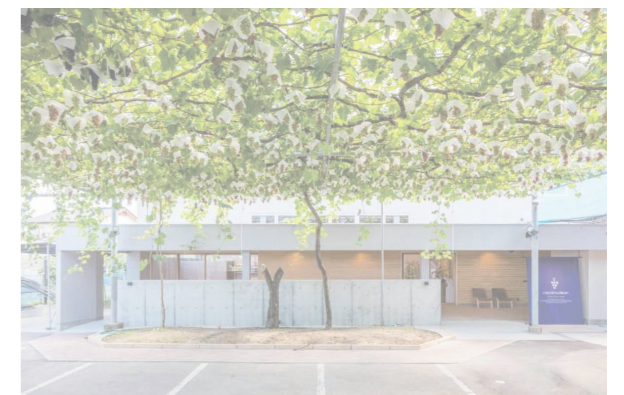
# 普及かわら版 For The Top Management

<第49号> 令和元年8月発行  
富山県砺波農林振興センター  
〒939-1386 砺波市幸町1-7  
(砺波総合庁舎内)



【水田における野菜栽培の排水対策】

6月3日に研修会を開催し、35名の農家、JA指導員等が参加されました。研修会では、現地ほ場2カ所を巡回、適切な圃場選定と圃場に応じた効果的な排水対策を学びました。(P4, 5に本文)



【宮崎ぶどう園の6次産業化の取組み】

昨夏、園内にぶどうジュースやソルベ(シャーベット:左写真)が飲食できるカフェ併設の直売所がリニューアルオープンしました。(P7に本文)

## 目次

表紙	水田における野菜栽培の排水対策研修会	P1	令和2年産から「てんたかく」は「てんたかく81」に 「エンレイ」は「えんれいのそら」に全面切り替え	P6
表紙	ぶどう直売所に農園カフェを併設	P1	「とやま農業未来カレッジ」研修生募集について	P7
農業経営基盤強化準備金制度について		P2,3	6次産業化の取組みについて ～ぶどう直売所に農園カフェを併設～	P7
水田における野菜栽培の排水対策について ～圃場外からの浸水防止と圃場内の排水を確実に！～		P3,4	令和元年の「富富富」生産の取組みについて ～作付面積が拡大！収量と品質・食味の両立を目指して！～	P8



# 農業経営基盤強化準備金制度について

「農業経営基盤強化準備金制度」は、「経営所得安定対策」及び「水田活用の直接支払交付金」を活用して計画的に農業経営の基盤強化（農用地、農業用機械・施設等の取得）を図る取組みを支援するものです。平成30年度に制度改正がありましたので、改めてお知らせします。

## 1 「農業経営基盤強化準備金制度」とは

### (1) 特例措置の内容

- ・経営所得安定対策等の交付金を農業経営改善計画などに従い、準備金として積み立てた場合、この積立額を個人の場合は必要経費に、法人の場合は損金に算入できます。
- ・農業経営改善計画などに従い、積み立てた準備金を取り崩したり、受領した交付金をそのまま用いて、資産（農用地、農業用の建物・機械等）を取得した場合、圧縮記帳ができます。

### (2) 対象農業者

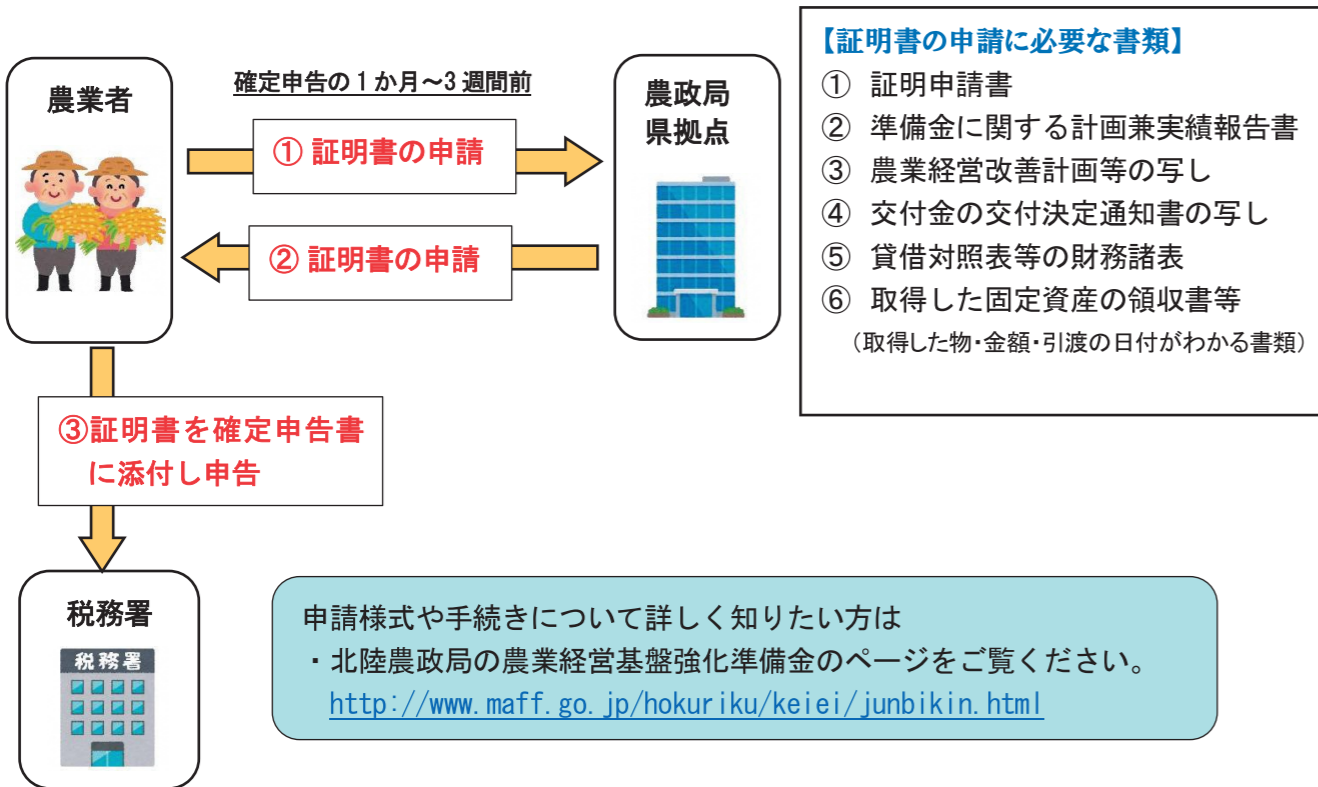
- ・経営所得安定対策等の交付金の対象者であり、かつ青色申告により確定申告を行う次の者
- ① 認定農業者（個人、農地所有適格法人）
- ② 認定新規就農者（個人）

### (3) 対象となる資産（購入する資産は、農業経営改善計画等に記載）

- ① 農用地⇒農地、採草放牧地等
- ② 農業用の建物・機械等⇒大型の温室、農機具庫、トラクタ等
- ※車両（トラックやフォークリフトなど）や中古品は対象外

## 2 「農業経営基盤強化準備金制度」の適用を受けるための手続きについて

- ・準備金制度の適用を受けるには、対象となる金額についての農林水産大臣の証明書が必要です。



## 3 平成30年度改正での主な変更点について

- (1) 準備金は、平成30年度税制改正で適用期限が2年延長され、個人は令和元年分、法人は決算期末が令和2年3月31日までの申請分が対象となる。
- (2) 農用地等の資産を取得した場合、必ず準備金を取り崩す。  
⇒農業経営改善計画等に記載していない資産等を購入した場合でも、準備金の取り崩しが必要となります。この場合、資産等の取得相当額は圧縮記帳対象外となるため益金算入されます。益金算入せず圧縮記帳の対象にする場合、購入の検討段階で、農業経営改善計画を変更申請しておく必要があります。

## 4 仕訳事例

準備金を取り崩す範囲や固定資産取得時に圧縮記帳できる範囲が、ケースによって異なるので気を付けて仕訳しましょう。

### (1) 産地づくり交付金500万円が普通預金に入金され、うち300万円を農業経営基盤強化準備金に繰り入れた場合

普通預金	5,000,000	雑収入	5,000,000
農業経営基盤強化準備金繰入	3,000,000	農業経営基盤強化準備金	3,000,000

### (2) 300万円の農業用機械を自己資金で購入した場合

#### ① 購入する農業用機械が経営改善計画に記載されている場合

農業経営基盤強化準備金	3,000,000	農業経営基盤強化準備金戻入	3,000,000
固定資産圧縮損	3,000,000	機械・装置	3,000,000

#### ② 購入する農業用機械が経営改善計画に記載されていない場合

農業経営基盤強化準備金	3,000,000	農業経営基盤強化準備金戻入	3,000,000
-------------	-----------	---------------	-----------

このケースも、準備金を取り崩す

### (3) 1000万円の農業用機械を「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」で購入した場合

【前提条件】 国補助金300万円、融資500万円、自己資金200万円

#### ① 購入する農業用機械が、経営改善計画に記載されている場合

農業経営基盤強化準備金	7,000,000	農業経営基盤強化準備金戻入	7,000,000
-------------	-----------	---------------	-----------

融資分+自己資金分について準備金を取り崩す。

固定資産圧縮損	5,000,000	機械・装置	5,000,000
---------	-----------	-------	-----------

国補助金分+自己資金分について圧縮記帳する。※融資分はできない。

#### ② 導入する農業用機械が、経営改善計画に記載されていない場合

農業経営基盤強化準備金	7,000,000	農業経営基盤強化準備金戻入	7,000,000
-------------	-----------	---------------	-----------

融資分+自己資金分について準備金を取り崩す。

固定資産圧縮損	3,000,000	機械・装置	3,000,000
---------	-----------	-------	-----------

国補助金分について圧縮記帳する。 ※自己資金分、融資分はできない。

このケースも、準備金を取り崩す



# 水田における野菜栽培の排水対策について ～圃場外からの浸水防止と圃場内の排水を確実に！～

近年、集中豪雨や局地的大雨が増加傾向にあり、水田転換畑で野菜の収量及び品質の向上を図るためには、圃場の条件に対応した適切な排水対策の実施が重要です。

当センターでは、令和元年6月3日(月)に管内の野菜生産者(主ににんじん)等を対象に「排水対策研修会」を開催したところです。

今回は、研修会の内容の中から野菜栽培のための効果的な排水対策について紹介します。

## 1 圃場周辺からの水の浸入を防ぐ

### (1) 圃場周辺の確認のポイント

作付予定圃場に圃場外から浸水しないか、以下の3点を確認します。

- ア 湛水田と隣接していないか
- イ 用水からの漏水はないか
- ウ 道路からの雨水の流入の可能性はないか



写真1 不耕起地帯の例

### (2) 浸水防止対策

ア～ウにどれか1つでも当てはまる場合は、水が浸入する側から約2mの不耕起地帯(写真1)を作ります。

耕起してしまうと、圃場外からの浸水により湿害が発生してしまいます(不耕起地帯が圃場内への浸水を防ぎます)。

特に、湛水田と隣接している場合は、不耕起地帯をつくるだけでなく、畦塗り機等であぜを塗ることで圃場内への漏水や浸水を防止します。

## 2 作付圃場での効果的な排水対策の施工

### (1) 圃場の確認のポイント

圃場内の水を効果的に排水するため、作付圃場内では右の4点を順番に確認し圃場に応じた対策をとってください。

- ① 田面から落水口底面までの落差
- ② 田面から排水路の水面までの落差
- ③ 田面からの礫(石)層の出現位置
- ④ 本暗渠の敷設状況

### (2) 効果的な排水対策

#### ① 田面から落水口底面までの落差を確認してください

田面から落水口底面までの落差が30cm以下の場合(写真2)

- ・効果的に圃場外への排水が期待できないため、畦畔を割って低い落水口を作ります(写真3)。
- ・畦畔を割ることができない場合は、圃場を変更して下さい。

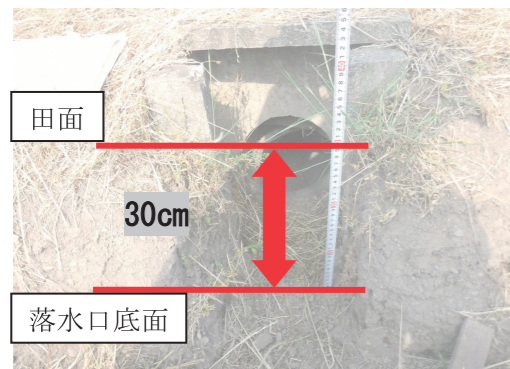


写真2 田面から落水口底面までの落差の確認



写真3 畦畔を割った例

#### ② 田面から排水路の水面までの落差を確認してください

田面から落水口底面までの落差が30cm以上でも、田面から排水路の水面までの落差が40cm以下の場合(図1)

- ・集中豪雨時などに逆流する恐れがあるため、サブソイラは使わず、深い額縁明渠を施工したり、高畝にしたりするなど、徹底した地表排水を行います。

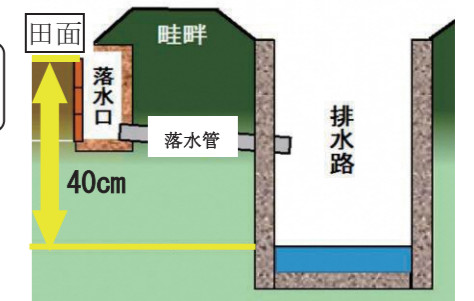


図1 田面から排水路水面までの落差

#### ③ 田面からの礫(石)層の出現位置を確認してください

落水口底面までの落差が30cm以上で排水路の水面までの落差が40cm以上でも、田面からの礫(石)層の出現位置が40cm以下の場合

- ・礫(石)層上端にサブソイラを入れます(写真4)。
- ・サブソイラは額縁排水溝から入れ、5m間隔に斜めに施工します(図2)。

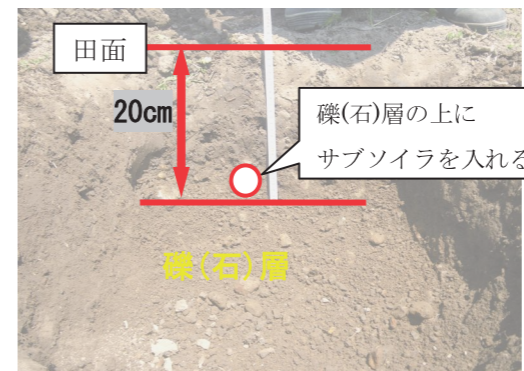


写真4 田面からの礫(石)層の出現位置

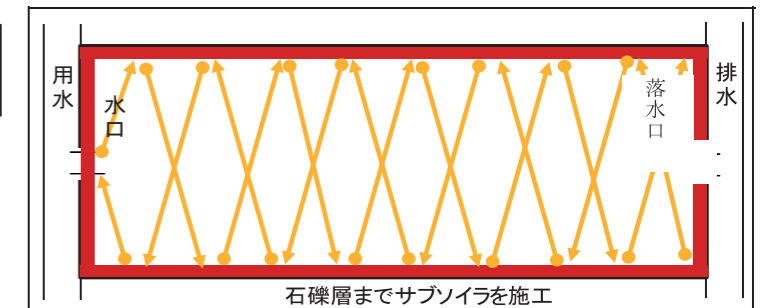


図2 礫(石)層の出現位置が田面から40cm以下のサブソイラ施工

#### ④ 本暗渠の敷設状況を確認してください

田面から落水口底面までの落差が30cm以上、田面から排水路までの落差が40cm以上、礫(石)層の田面からの出現位置が40cm以上をすべて満たす場合

##### 【本暗渠がある場合】

- ・本暗渠の位置に応じて、本暗渠の上に額縁排水溝から5m間隔に斜めにサブソイラを施工します。

##### 【本暗渠がない場合】

- ・まず、排水口に深さ30～50cmの集水升(写真5)をつくり、そこからサブソイラで硬盤下端に放射状に深い暗渠を施工します。次に、サブソイラを土層下端に額縁排水溝から入れ、5m間隔に斜めに施工します(図3)。



写真5 集水升の施工例

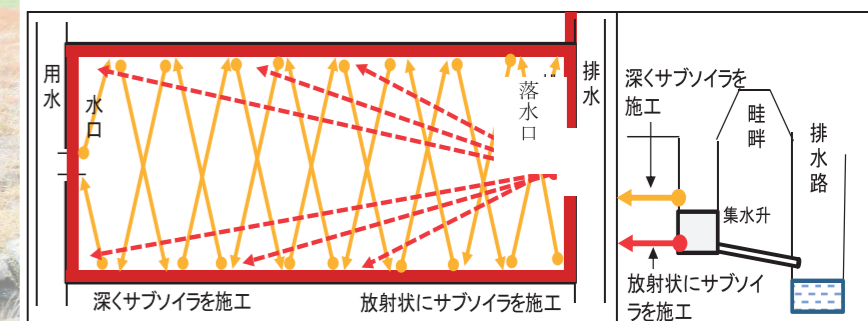


図3 本暗渠がない場合のサブソイラ施工

高品質な野菜の安定生産のために、  
適切な圃場選定と圃場に応じた効果的な排水対策を！



## 令和2年産から「てんたかく」は「てんたかく81」に 「エンレイ」は「えんれいのそら」に全面切り替え

水稻早生品種「てんたかく81」と大豆「えんれいのそら」は、それぞれ元の品種特性を受け継ぎながら一部分のみを改良した品種です。富山県では令和2年産から両品種とも全面切り換えをしますので、その特性についてご紹介します。

### 1 てんたかく81

#### (1) 育成の経緯

「てんたかく81」は、生産者から①「てんたかく」より熟期の早い品種が欲しい、②「てんたかく」の収量性を改良して欲しい等の要望を受けて育成されました。

#### (2) 品種の特徴

成熟期：「てんたかく」に比べて2日程度早い（極早生）

稈長：「てんたかく」並で耐倒伏性は強い

収量：「てんたかく」より粒の充実が良く、収量はやや多い

品質：「てんたかく」並に高温に強く、整粒割合が高い

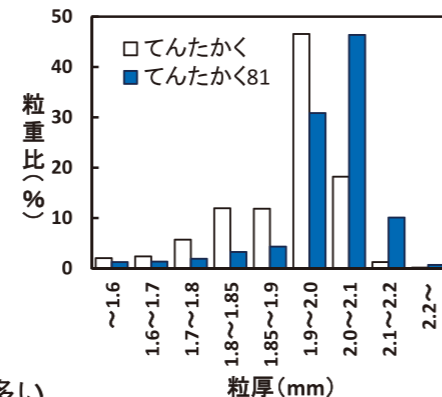


図1 粒厚の比較  
(H27年農業研究所)

表1 てんたかく81の品種特性

移植時期	品種	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	倒伏 (0~5)	精玄米重 (kg/a)	収量比 (%)	千粒重 (g)
4月下旬	てんたかく81	7/11	8/16	70	509	0.1	59	107	22.7
	てんたかく	7/13	8/18	70	502	0.1	55	100	21.6
5月中旬	てんたかく81	7/19	8/24	69	456	0.2	56	107	23.1
	てんたかく	7/21	8/26	69	449	0.0	53	100	22.1

※農業研究所奨励品種決定調査データ(4月下旬H25年~H30年、5月中旬はH24年~H30年)

### 2 えんれいのそら

#### (1) 育成の経緯

「えんれいのそら」は、従来の大豆品種「エンレイ」の莢がはじけやすく、収穫ロスが多いという欠点の改善を目的に育成された品種です。

#### (2) 品種の特徴

成熟期：「エンレイ」に比べて5日程度遅い

収量：コンバインによる収穫ロスが少なく、収量は「エンレイ」並み~やや多い

品質：「エンレイ」より裂皮粒、しわ粒の発生が少なく、品質は良好

栽培：施肥、栽植密度、防除等の栽培管理は「エンレイ」と同じ



エンレイ



えんれいのそら

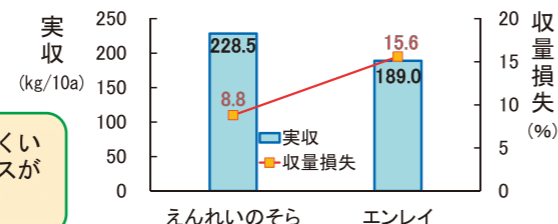


図2 実収及び収量損失 農業研究所  
(実収:H24年、収量損失:H28、H29年平均で  
コンバインロスや自然落下損失によるもの)

### 3 検査・流通について

両品種とも形質・品質が従来品種と差がなく、取引関係者と同一銘柄として流通することについて合意を得ていることから、「てんたかく群」「エンレイ群」として品種群設定がされています。このため、検査・流通は、従来どおり「てんたかく」、「エンレイ」として扱われます。

## 「とやま農業未来カレッジ」研修生募集について

平成27年4月に開講した「とやま農業未来カレッジ」は、この春に第5期生として12人が入学し、就農に向け農作物の栽培技術や農業に関する様々な知識の習得に熱心に取り組んでいます。

砺波農林振興センター管内では、これまでに10人の卒業生が農業法人の従業員として就農しています。また卒業後も独立自営就農に向け研修を継続する方もおられます。

このたび、令和2年度・第6期生の募集要項が決まりましたのでお知らせします。

#### 募集概要

○募集期間：令和元年7月8日(月)~11月8日(金)

○募集定員：15名(最大20名程度)

○応募資格：富山県での就農を希望し、1年間通学が可能であり、卒業時点で原則50歳未満の者

○受講料：年間118,000円(予定)

※他に教科書代、実習教材費、被服費等が必要

○選考：令和元年12月1日(日)作文及び面接

○結果発表：令和元年12月20日(金)

※一次募集で定員に満たなかった場合、二次募集を実施することがあります。

#### 募集要項(応募書類)の入手方法

○ホームページからダウンロード URL <https://taff.or.jp/nou/college>

○農林振興センター、砺波市、南砺市など県内の市町村、JAの就農相談窓口など

## 6次産業化の取組みについて ~ぶどう直売所に農園カフェを併設~

砺波市東保の「宮崎ぶどう園」は昭和57年に開園し、現在は30種類の高級品種ぶどうを中心に1.6haで栽培しています。

当初から、園内の直売所で、完熟の美味しい旬のブドウを提供してきましたが、生産量の増加に伴い、新たな客層の拡大と規格外品の有効利用による売り上げの増大を目的に、昨年、カフェを併設した直売所をリニューアルオープンしました。

カフェの整備(主に厨房機器)には、「6次産業化とやまの魅力発信事業(県単)」が活用されました。

直売所のスペースは以前の2.5倍に拡大するとともに、カフェでは、搾りたてのジュースやソルベ(シャーベット)を提供しています。

また、ブドウ棚を眺めながら休憩できるスペースも備わりオシャレな雰囲気となっています。

採れたてのブドウだけで作るジュース(1杯500円~)やソルベ(1個700円)は、若者など新たな客層から予想以上に注目され、初年度から順調に売上げを伸ばしています。

代表の宮崎雄介氏は「これからも、さらにブドウや加工品などのクオリティを高め、来客者の満足度を高める取り組みを続けていきたい」と、熱い思いを語っています。



生搾りのぶどうジュース



休憩スペース